復興知大学連合
福島フィールド・ミュージアムツアーのしおり

1.　日　程

2019 年 10 月 3 日(土)～4 日(日)　＊出発場所によっては 2 日(金)が移動日

2.　宿泊先

ビジネスホテル高見（Tel：0244-24-5668）
住所：福島県南相馬市原町区高見 2 丁目 86-1
＊夕食、朝食付き

3.　参加者

教員：4 名（溝口先生、今井先生、西脇先生、杉野）
学生：16 名（京都大学 4 名、四日市大学 4 名、東京大学 8 名）

4.　持ち物

・洗面用具　・バスタオル　・簡易レインコート
・汚れても良い服　・筆記用具など
・（できれば、捨てても良い靴下 2 枚程度　＊水田に入る時に使います）
・マスク(運営側でも準備をしております)
・食費（3 日昼食、4 日昼食）
*3 日の夕食、4 日の朝食については宿泊費に含まれます
・宿泊費 9,640 円

5.　注意点

・朝晩は冷えますので、調節のしやすい服装でお越しください。
・事前アンケートへのご回答にご協力ください。(https://forms.gle/NuDWjeTbsN5V4fdZA)
・村内見学の中で、皆様に村内の写真撮影をしていただき、後でそれを集めて共有します。たくさんの写真を撮って頂けますと幸いです。
・コロナ禍における活動となりますので、諸処活動に制約がかかっております。各自が以下の感染症対策に努めるようにお願いいたします。
★マスク着用、アルコール消毒の徹底、朝の体温チェック、車内換気、活動中の密を避ける

までい大学　Madei University

復興知大学連合
福島フィールド・ミュージアムツアー　全体ロジ

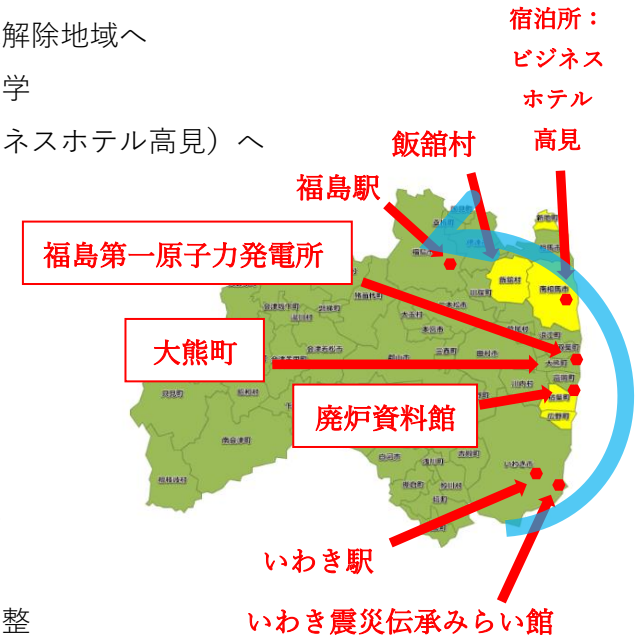
■■■　2日（東京までの移動日）　■■■

＊四日市大学の学生 4 名は、京都大学の学生 4 名、北海道様似町から参加の徳重君の合計 9 名は東京に移動。東京泊。

■■■　3日　■■■

＊3 日の昼食は各自お弁当を購入/作成した上で持参

・０８：００　上野駅発「ひたち 3 号(仙台行)」でいわきへ
・１０：２３　いわき駅到着　＊10 時 30 分にトヨタレンタカーいわき駅前集合　→　車で移動
・１１：３０　富岡町フィールド到着　→　見学
・１３：００　昼食
・１３：４５　富岡町フィールド出発　→　富岡町廃炉資料館へ
・１４：００　富岡町廃炉資料館到着　→　見学
・１５：３０　廃炉資料館出発　→　大熊町の避難指示解除地域へ
・１６：００　大熊町の避難指示解除地域到着　→　見学
・１７：００　見学終了　→　南相馬市の宿泊所（ビジネスホテル高見）へ
・１８：００　宿泊所到着　→　荷物をおいて夕食会
・２０：３０　夕食会終了　→　各自入浴後就寝



■■■　4日　■■■

・０７：００　起床＆朝食
・０８：３０　宿泊所を出発
・０９：３０　飯舘村松塚の土壌博物館到着　→　見学
・１０：００　までい館にて休憩
・１０：３０　佐須に到着（稲刈り作業に参加）＊要調整
・１１：３０　稲刈り作業終了予定　→　竣工式見学＆食事、演奏会など
・１５：００　飯舘村出発
・１７：００　福島駅到着　適宜解散　＊レンタカーは福島駅前のトヨタレンタカーで乗り捨て

＜福島駅発の新幹線目安＞

17：17　やまびこ 150 号　（18；48　東京駅着）（19：00 のぞみ 253 号→21：17 京都着）
17：50　やまびこ 152 号　（19：28　東京駅着）（19：40 のぞみ 415 号→21：55 京都着）

復興知大学連合
福島フィールド・ミュージアムツアー　補足資料

本ツアーでは飯舘村内の見学を行います。参加者の皆さんには、プログラム中、“心が少しでも動いた時”（面白いな、楽しいな、嬉しいな、驚いたな、すごいな等、なんでも構いません）に携帯端末で写真を撮って記録して頂きます。また、もし可能であれば、Twitter や Instagram, Facebook などの SNS から「#までい大学」もしくは「#madei_uni」を付けて、写真と共に感じたままの言葉をつぶやいてください。ぜひ**意識的に飯舘村で“心を動かして”ください**（＾＾）

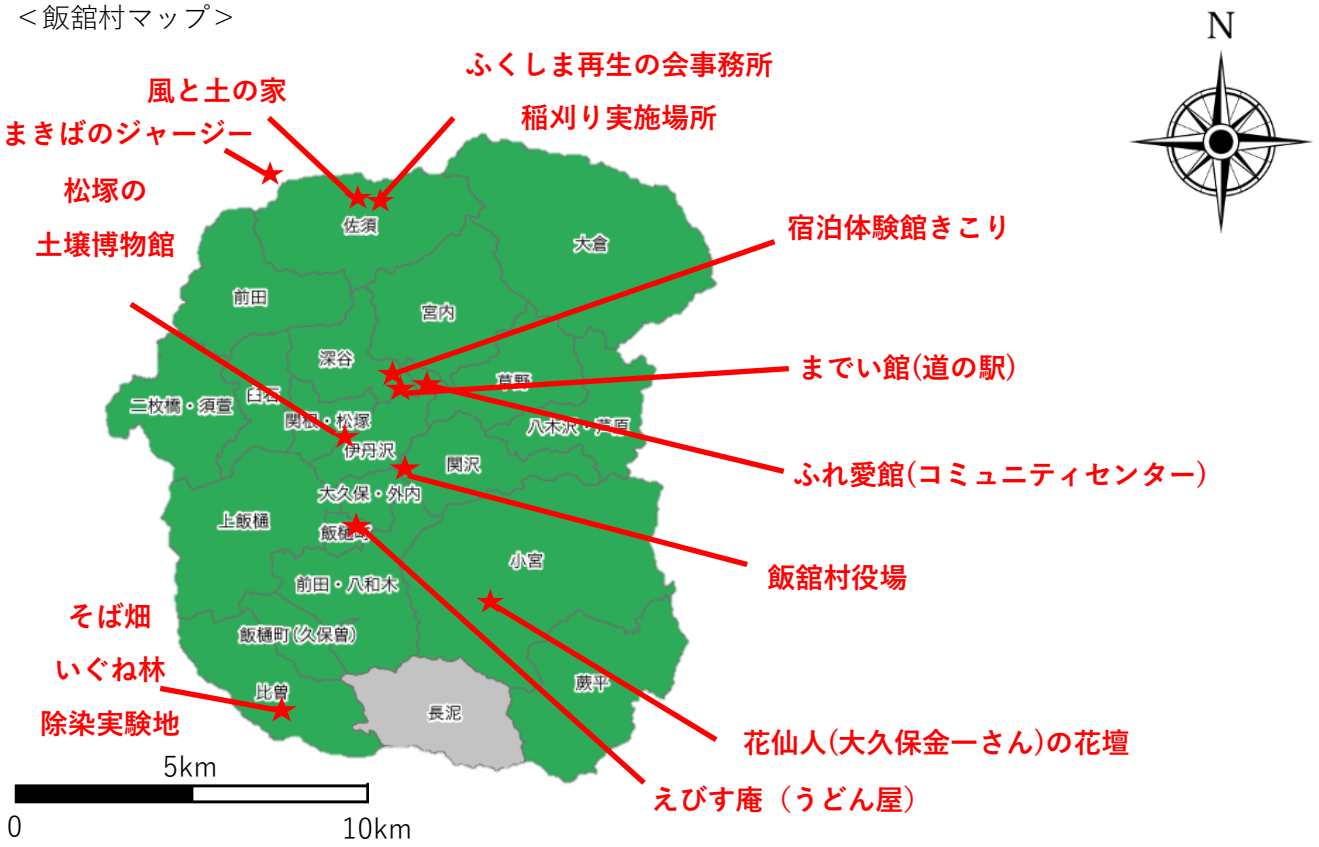
ハッシュタグ：　#までい大学　もしくは　#madei_uni

過去の記録はこちら

本プログラムの計画趣旨や記録などは、こちらのウェブサイトでご覧頂けます。

http://madeiuniv.jp/fukkouchi/

＜飯舘村マップ＞



復興知大学連合
福島フィールド・ミュージアムツアー　病院情報

■この度のツアーはコロナ禍の実施となりますので、各自ツアー前からの健康管理および検温の習慣を継続してください。もしツアー中に病院に行く必要性がある場合は、下記のものが道中近隣となりますので、参考までに情報を掲載しておきます。

病院名 Hospital	診療時間 Available	住所 Address	電話番号 Phone
県立ふたば復興診療所 （ふたばリカーレ）	９：００～１１：３０ １３：００～１５：３０	双葉郡楢葉町大字北田字中満２８９番－１	0240-23-6500
ときクリニック	９：３０～１２：００ １３：３０～１６：００	福島県双葉郡楢葉町下小塙字佐野 3-9	0240-25-1222
ふたば医療センター附属病院	９：００～１６：００ ＊救急については２４時間対応	福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 817-1	0240-23-5090
いいたてクリニック	火曜日・木曜日 ８：３０～１２：００	福島県相馬郡飯舘村伊丹沢山田 380	0244-68-2277
早川医院	火曜日９：００～１２：３０ 水曜日９：００～１１：３０、 １３：３０～１８：００	福島県相馬市中村字泉町 9-1	0244-37-3500
阿部クリニック	９：００～１２：００ １４：００～１７：３０	福島県相馬市中村１丁目 14-2	0244-35-2553

復興知大学連合

福島フィールド・ミュージアムツアー　参考情報：廃炉資料館

施設紹介

1階 ゾーン1 プロローグ
東京電力からのご挨拶文で、来館される皆さまをお迎えします。

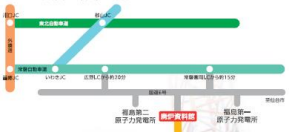
2階 ゾーン2 記憶と記録・反省と教訓
原子力事故を振り返り、その反省と教訓をお伝えします。

1階 ゾーン3 廃炉現場の姿
廃炉事業の全容と最新の現場の状況をお伝えします。

1・2階 情報スペース
福島復興への取り組み、原子力や放射線等の情報をご覧いただけます。

アクセス

●バス・乗用車ご利用の場合



●JR線ご利用の場合

●JR常磐線 富岡駅からのアクセス

施設概要

名　称	東京電力廃炉資料館
所 在 地	福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央378番地（旧エネルギー館）
電話番号	0120-502-957
開館情報	開館時間：9:30～16:30 休 館 日：毎月第3日曜日・年末年始 入 館 料：無料（駐車場無料）

TEPCO
東京電力ホールディングス株式会社

東京電力 廃炉資料館

TEPCO Decommissioning Archive Center

発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして国内外の多くの皆さまが、原子力事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を当社施設である「旧エネルギー館」に設置いたしました。

原子力事故の記憶と記録を残し、二度とこのような事故を起こさないための反省と教訓を社内外に伝承することは、当社が果たすべき責任の一つです。長期にわたる膨大な廃炉事業の全容を見える化し、その進捗をわかりやすく発信することは、国内外の英知の結集と努力を継続させていく上でも大切です。関係施設及び周辺地域等との連携を図りながら、原子力事故を後世にお伝えしていくとともに、復興に向けた皆さまの安心につなげるよう努めてまいります。

ゾーン2 記憶と記録・反省と教訓

3 3.11・時のオブジェ
地震や津波の被害状況を時計型のオブジェに記録しました。

4 シアターホール
地震発生から原子力事故とその対応をご覧いただく映像シアターです。

5 原子力発電とは
福島第一原子力発電所の事故をご理解いただくための原子力発電の基本情報です。

6 福島第一事故の対応経過 a01
地震発生から電源復旧までの11日間を振り返ります。

7 1～4号機の事象 a02
福島第一原子力発電所各号機原子炉内部の視点から、事故の経過を振り返ります。

8 その時、中央制御室では a03
津波によって全電源を喪失した1・2号機中央制御室の事故当時の様子を振り返ります。

9 福島第二の対応 a04
地震発生から電源復旧までの福島第二原子力発電所の対応と経過を振り返ります。

10 反省と教訓 a05
防ぐことのできなかった事故の事実に正面から向き合い、昨日より今日、今日より明日の安全レベルを高めてまいります。

11 あの日、3.11から今 a06
事故対応にあたった所員の思いを「生の声」として後世に残していきます。

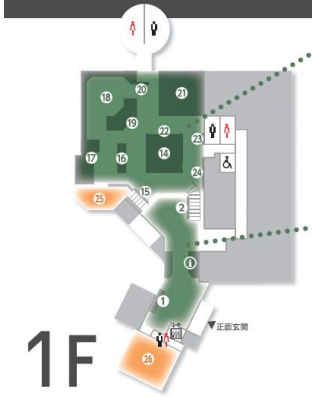
12 福島原子力事故時系列 a07
地震発生から冷温停止までの経過について、二つの発電所の対応を時系列に表示しています。

情報スペース　1・2階

13 復興連携ギャラリー【2階】
福島イノベーションコースト構想を中心に、関連施設や復興関連の取り組みを紹介します。

25 原子力情報コーナー【1階】
原子力や廃炉等に関わる資料を閲覧する情報公開コーナーです。

26 放射線情報・コミュニケーションスペース【1階】
F ● ROOM
放射線情報や地域情報等をお伝えします。
気軽にお立ち寄りください。



ゾーン3 廃炉現場の姿

14 エフ・キューブ（F・CUBE）
「廃炉作業の現場」とは。
福島第一原子力発電所構内の状況を紹介します。

15 福島第一で働くひとびと
さまざまな職種の方々に支えられ、廃炉に向けた作業を日々着実に進めています。

16 廃炉への取り組みゲート
－福島第一の今－

17 汚染水対策 b01
「取り除く」「近づけない」「漏らさない」の3つの基本方針の具体策を紹介します。

18 燃料取り出し・燃料デブリ取り出し b02
原子炉建屋内での作業状況を映像等で紹介します。

19 労働環境改善 b03
放射性物質によるリスク低減等の改善への取り組みを紹介します。

20 廃棄物処理 b04
廃炉作業で発生した廃棄物の処理・保管施設を紹介します。

21 技術開発と研究施設の紹介 b05
国内外の英知を結集した廃炉作業。そのさまざまな技術開発を紹介します。

22 福島第一・中長期ロードマップ
廃炉作業終了までの取り組みを着実に進めるための目標を表示しています。

23 福島第二原子力発電所の安全への取り組み
原子力事故以降の福島第二原子力発電所の安全に向けた取り組みを紹介します。

24 世界の廃炉対応
国内外の原子力発電所の廃止措置の状況を紹介します。

ゾーン1 プロローグ

1 ごあいさつパネル

2 情報ビジョン

復興知大学連合
福島フィールド・ミュージアムツアー　参考情報：土壌博物館

松塚土壌博物館へようこそ

館長あいさつ

2011 年 3 月の東日本大震災に伴う原発事故により空気中に放出された放射性セシウムは風に乗って飯舘村上空に流され雨と共に地上に降り注ぎました。放射性セシウムは土壌中の粘土に強く吸着し、移動することなく土中に留まり、地表面から放射線が放出し続け、村内の空間放射線量率が下がりませんでした。そのため飯舘村では 2011 年 4 月から 2017 年 3 月まで全村民に対して避難指示が出されました。一刻も早い村民の帰村を果たすために、国は一斉に宅地や農地の地表面をはぎ取る「除染工事」を実施し、生活空間の放射線量を安全なレベルまで低下させました。特に、広い面積を占める農地では削り取り工事で低下した地盤を元の高さに戻すために山土が入れられています。（客土）

この土壌博物館では除染工事終了後に土壌調査のために掘った穴をそのままの状態で残しています。是非ともご自分の目で土を観察して頂きますようお願い致します。

観察のポイントは以下の 3 点です。

・地表面から 10cm 付近に見られる元の土と客土の色の違い
・穴に溜まっている水溜り（地下水）
・水溜りにつながる素焼きの土管（暗渠）

これらは日本で昔から使われている農業土木の技術です。この博物館の周りにいる和牛や日本人の主食であるコメも全てはこうしたさりげない農業基盤の上で生産されているのです。この機会に日本の食料生産を支える農業技術も学んで頂けましたら幸いです。

この土壌博物館は土地所有者の山田猛史さん・豊さん父子の寛大なご理解によって設置させて頂いています。また、土壌博物館の建設は認定 NPO 法人ふくしま再生の会の皆様のご協力を頂きました。ここに記して感謝します。

松塚土壌博物館館長
溝口　勝
東京大学大学院農学生命科学研究科教授
認定 NPO 法人ふくしま再生の会副理事長